

概要版

「しあわせ 循環 学園都市・よねざわ」を目指して

米沢市まちづくり総合計画

よねざわ しあわせ ビジョン 2035

2026
(令和8年度)



2035
(令和17年度)



米沢市



「よねざわ しあわせビジョン」って？

計画策定の趣旨

人口減少や労働力不足をはじめ、物価の高騰、異常気象・自然災害の頻発化等が市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼす中、社会構造の変化を踏まえ、総合的かつ計画的な行政運営が求められています。

このような時だからこそ、知恵を出し、力を合わせ、オール米沢で本市の魅力を活かしながら、市民一人ひとりが心身ともに健康でしあわせを実感できる持続可能なまちを創り上げなければなりません。

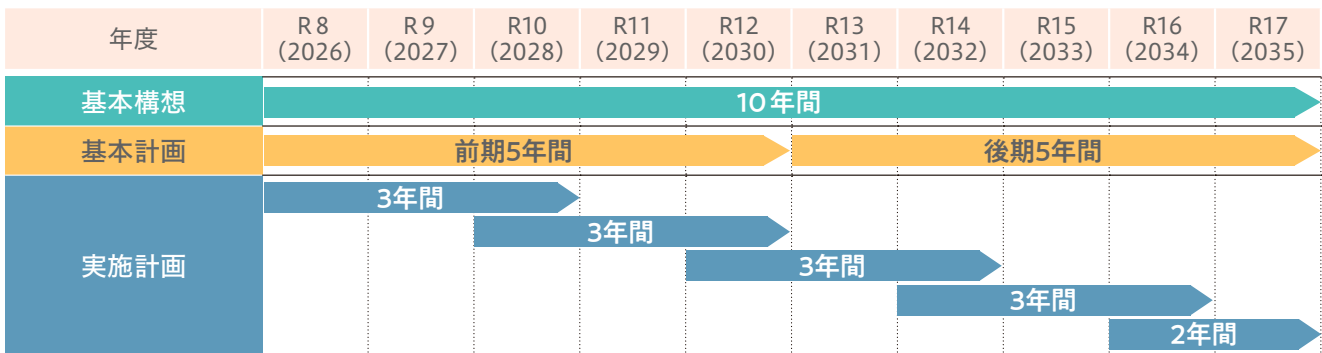
市民と行政が目指すべきまちの将来像を共有し、更なる市勢発展に結び付けるため、この米沢市まちづくり総合計画（よねざわ しあわせビジョン2035）を策定します。

計画の役割、構成と期間

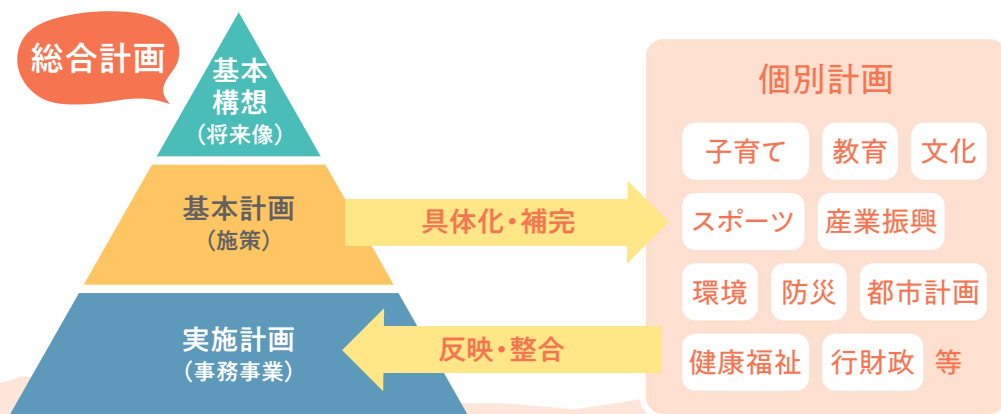
本計画は、本市の最上位計画として、目指すべき将来像の実現に向け、市政を運営する基本的な考え方を示す役割を担うものです。また、まちづくりの特定の分野に関する個別計画（計画・方針等）の指針となるものです。

基本構想	10年間	将来像、基本目標等、まちづくりの基本的な方向性を示す。
基本計画	前期5年間 後期5年間	基本構想の実現に向け、重点プロジェクト、基本目標ごとの施策を示す。
実施計画	1期3年間 (第5期は2年間)	<ul style="list-style-type: none">●基本計画で定めた施策を実現するための具体的な事務事業を個別計画との整合を図りながら示す。●各年度の予算編成及び事業執行の指針とするため、財政状況等を勘案し、ローリング方式で別途策定する。

▼ 計画期間



▼ 総合計画の構成と個別計画との関係



将来像

令和8(2026)年度から10年間のまちづくりの基本的な方向性について、市民、学生、事業者をはじめ、本市に関係・ゆかりのある多くの人と共有するため、目指すべきまちの将来像を定めます。



「しあわせ」を実感できるまち。

本計画期間中、人口の減少は避けられません。このような状況においても人口減少の抑制を図りつつ、人口減少を前提とし、持続可能で成熟したまちを創り上げることを考えなければなりません。キーワードは「しあわせ」です。「ウェルビーイング」という言葉が注目されつつあり、「持続するしあわせ」とも訳されます。「しあわせ」の形は一人ひとり異なりますが、私たちは、本市に関わる全ての人が「しあわせ」を実感できるまちを目指していきます。

そのためにはどうすれば良いのでしょうか？私たちは、様々な循環によって、幸福度を高めることができると考えます。例えば、こどもたちを健やかに育てられる環境の下で子育て家庭をはじめとする多様な世代が集まり、ひとが集まることで産業や経済が活性化して市民や企業の所得が増え、所得が増えることで税収も増えて公共サービスが充実し、誰もが安心して住み続けられる環境が整い、さらに人々が集うという好循環。こうした大きな循環だけでなく、様々な分野でも循環や連鎖、波及を考えることにより、地域全体に「しあわせ」が広がる効果的・効率的なまちづくりが実現できます。

人を育み、人を活かす「学園都市・よねざわ」。

人口8万人弱の都市に3つの大学が立地する本市は、東北地方有数の「学園都市」です。約3,600人の学生と約500人の教職員が本市の経済や地域づくりに大きく寄与しており、各大学の知見は、本市の発展に欠かせないものです。大学だけでなく、置賜地域の中心都市として、多くの高校が立地し、近隣市町からも学生が集まるなど、人材を育み、活かす土壌を有しています。

このような本市の強みを踏まえ、官民の連携をより一層進めることで産業の振興や地域の課題解決に取り組むとともに、豊かな自然や歴史・文化の中で、学生だけでなく、こどもから高齢者まで幅広い年代の人々が、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、ともに学び、支え合いながら活躍する新しい「学園都市」をつくり、みんなが「しあわせ」を実感できる「よねざわ」を目指します。

ウェルビーイング (Well-Being) とは

昭和21(1946)年の世界保健機関(WHO)設立憲章に「身体的・精神的・社会的に満たされた状態にあること」と表現されており、多面的・持続的に良好(満足/しあわせ)な状態を表す言葉として、広く使われるようになっていく。国が進めるデジタル田園都市国家構想においても、心豊かな暮らし(Well-Being)と持続可能な環境・社会・経済(Sustainability)を実現していくと明記されている。

「よねざわ しあわせビジョン」のめざす姿は？

重要目標達成指標

本計画の最も重要な成果として、人口減少のスピードを緩やかにし、持続可能なまちを創ること、そして、人口が減少しても市民一人ひとりが幸福を実感できるまちを創ることにより、目指すべきまちの将来像を実現することが求められます。

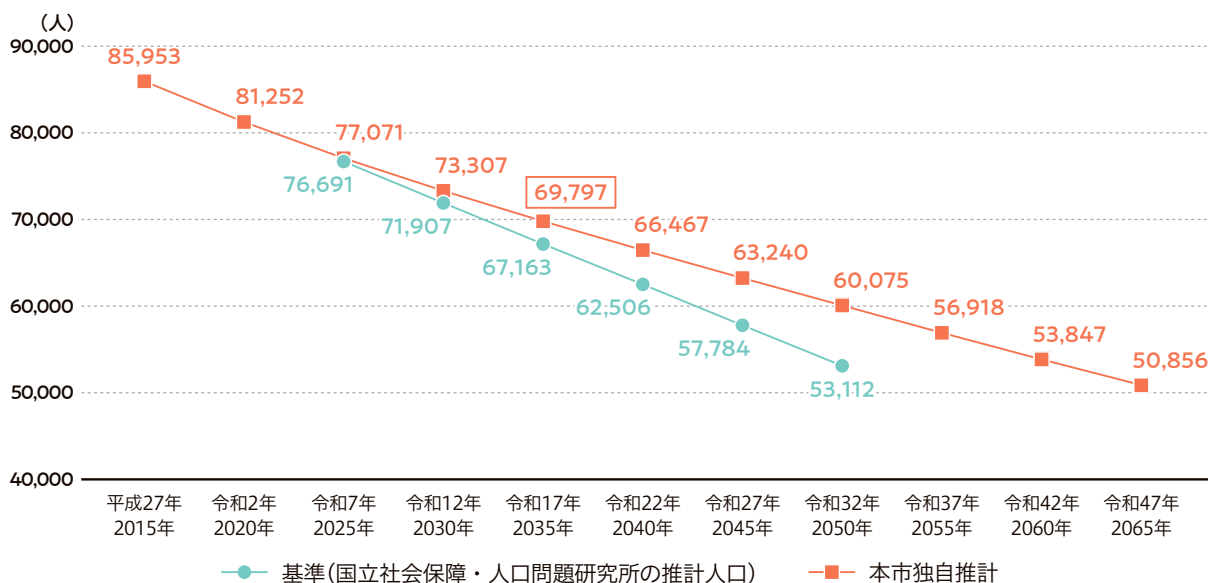
このことから、「将来人口」と「地域幸福度」を最上位の重要目標達成指標 (KGI) に設定します。

(1) 将来人口

令和6(2024)年に改定した米沢市人口ビジョンを踏まえ、人口減少が急速に進行する中、施策を着実に実行することで、国立社会保障・人口問題研究所(令和5(2023)年12月推計)による推計人口を基準として、令和17(2035)年の将来人口を7万人程度とすることを目標とします。結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援と転出者の抑制・転入者の増加に向けた効果的な施策を実施することにより、出生率の上昇と将来的な社会増減の均衡を目指していく必要があります。



人口推計シミュレーション



(2) 地域幸福度

市民一人ひとりの幸福感を高めるためには、誰もが暮らしやすいまちづくりを進め、ともに支え合いながら地域の豊かさや心豊かな暮らしにつながるウェルビーイングなまちを形成し、地域全体の幸福度を向上させることが重要です。

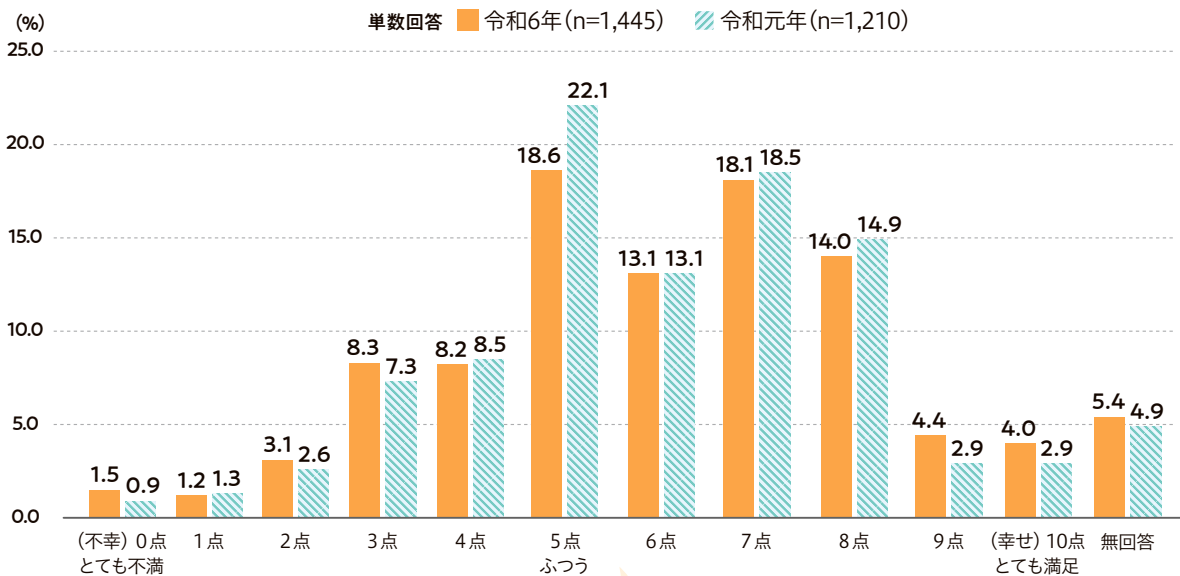
令和6（2024）年に実施した市民アンケート調査（18歳以上）による「暮らしの満足度（幸福度）」の平均5.87点を基準値として、令和17（2035）年は6点以上とすることを目標とします。

なお、国が作成している地域幸福度（Well-Being）指標を活用し、カテゴリ別の地域幸福度のフォローアップと検証を行いながら、この目標達成確認の補完を行っていきます。

目標

令和17(2035)年
6点以上

市民アンケート調査の「暮らしの満足度（幸福度）」



平均点

令和元年 5.84点 ▶ 令和6年 5.87点

(注) 平均点は、0点～10点×各人数の合計点を点数回答者（0点～10点の総人数）で除した値

「よねざわ しあわせビジョン」ではどんなことに

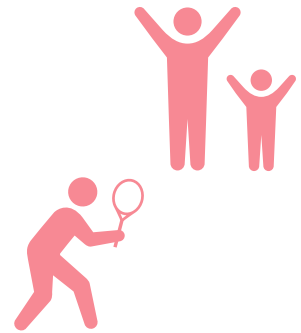
基本目標

目指すべきまちの将来像の実現に向け、5つの分野ごとに基本目標を掲げ、関連する施策を設定します。

基本目標 1 子育て・教育

米沢に誇りを持つこどもを育み、 生涯にわたる「ひとづくり」を実現する

県内最高水準の子育て・教育環境を目指し、結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援を進め、こどもの健やかな成長と教育の質の向上を図り、本市に誇りを持つこどもを地域全体で育みます。また、高校・大学との連携強化、文化芸術やスポーツ等を親しむことができる環境整備を推進し、生涯にわたり学び育てる「ひとづくり」を実現します。



基本目標 2 産業・経済

働く環境の整備と高付加価値化により、 市民所得の向上を実現する

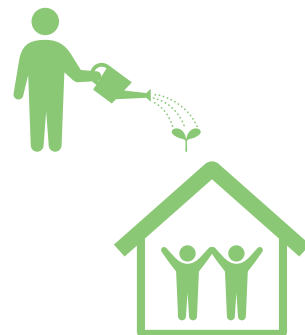
本市の多様な産業をさらに成長させるため、若者が定住できる働く環境を整備するとともに、時代の変化を見据え、大学の研究開発等を活かした官民の連携により高付加価値化を図ります。加えて、DX、リスキリング等による生産性向上や人材育成に取り組むことで、地域内の経済循環を高め、市民所得の向上を実現します。



基本目標 3 環境・防災・社会基盤

自然や歴史・文化と都市機能が調和した、安全安心な米沢を実現する

自然や歴史・文化と都市機能が調和したまちを目指し、環境に配慮した脱炭素社会の形成、歴史・文化を活かしたまちなみ整備、空き家の活用等による住環境づくり、交流が促進する公共交通の構築等に取り組みます。また、コンパクトで災害に強い都市基盤を整備するとともに、ともに助け合う雪・防災対策を推進することにより安全安心で機能的な米沢を実現します。



基本目標 4 健康・医療・福祉

安心できる地域医療と、誰もが健康で活躍できる共生社会を実現する

人生100年時代に市民が健康で明るく元気に活躍し続けるため、安心できる地域医療の体制を構築するとともに、大学等と連携した健康長寿のまちづくりを推進します。また、高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で自分らしく生活できる環境を整備し、全ての人に居場所と出番のある地域共生社会を実現します。



基本目標 5 協働・魅力発信・行財政

地域づくりと魅力発信を進め、市内外から選ばれる米沢を実現する

地域で住み続けることができるよう、多様性を尊重し、人と人をつなぎ誰もが活躍できる地域づくりを進めるとともに、魅力発信を推進します。加えて、DXや公共施設の配置等の最適化をはじめとする持続可能な行政経営を行うことで、質の高い行政サービスを市民・事業者を提供し、市内外から選ばれる米沢を実現します。

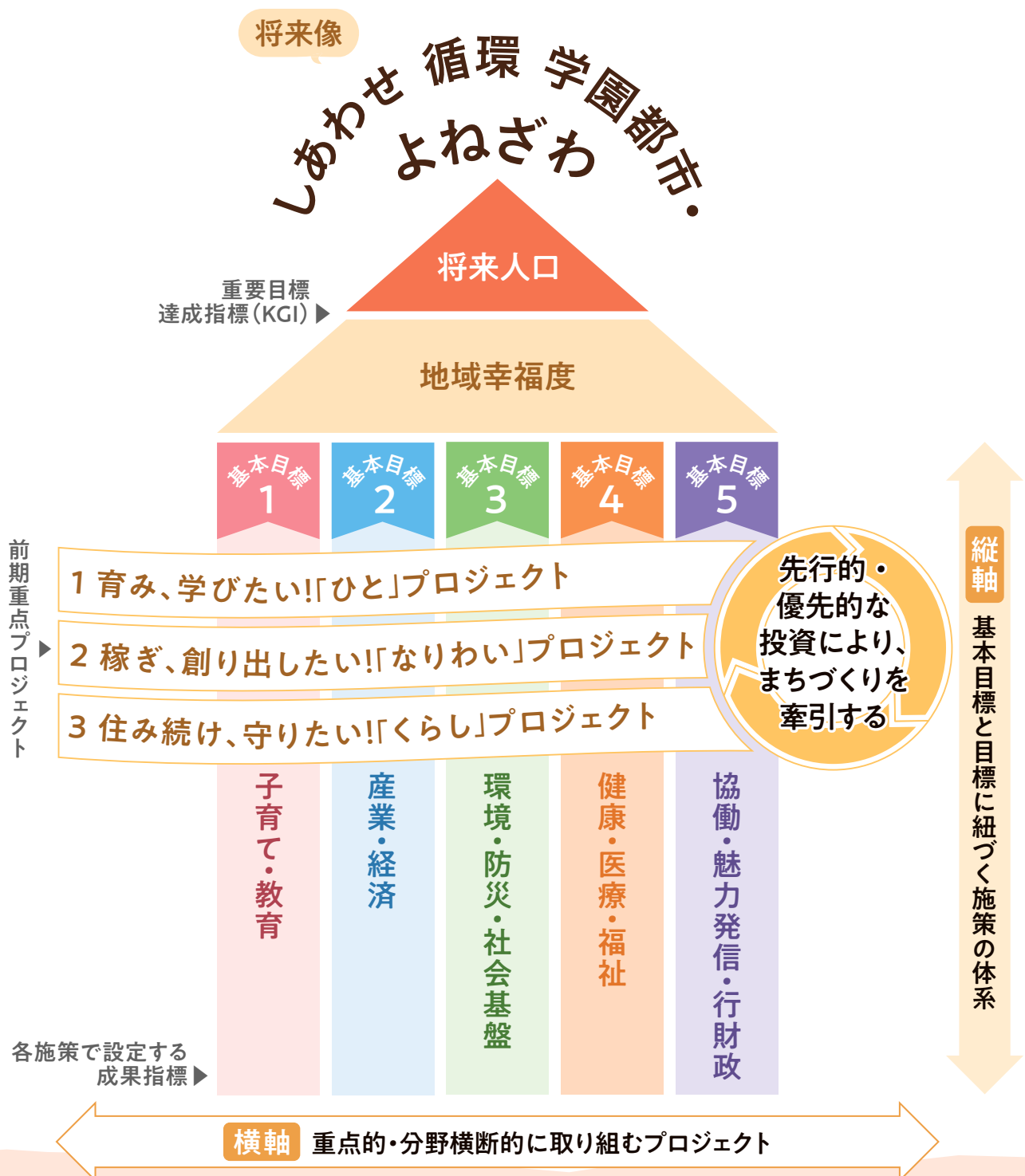


なかでも、これから5年間は特にこんなことに

前期重点プロジェクト

前期基本計画では、基本構想で掲げた重要目標達成指標(KGI)である「将来人口」と「地域幸福度」の達成に向け、前期5年間で特に重要性や緊急性が高く、先行的・優先的な投資が必要な取組を前期重点プロジェクトとして定めます。

プロジェクトは、5つの基本目標に紐づく施策を重点的・分野横断的に集約し、まちづくりを牽引するための取組を示したものです。



取り組みます!

1 育み、学びたい!「ひと」プロジェクト

若い世代の希望を叶え、結婚や子育てを応援する取組の充実を図るとともに、より良い教育環境の整備等により、子どもや若者が未来を創造する力を育みます。また、学園都市の資源を活かした産業人材の育成をはじめ、全ての人が生涯を通じて学び、活躍できる環境づくりに取り組みます。

▼ 主な取組

① 結婚・子育てを応援する環境づくり

担当課 ▶ 地域振興課、子育て支援課、健康課

- よねざわ結婚支援センターによる結婚に結び付く取組
- 放課後児童クラブ利用料の無償化に向けた取組
- 診療所の新規開設、承継に対する支援

② 未来を創造する力を育む教育環境づくり

担当課 ▶ 政策企画課、教育総務課、学校教育課

- 小中学校の再編統合と学校施設の改修
- 小中学校給食の完全無償化と安全安心なおいしい給食の提供
- 県立中高一貫教育校の設置に向けた取組

③ 生涯を通じて学び、活躍できる環境づくり

担当課 ▶ 地域振興課、商工課、社会教育課

- 連携協定に基づく大学との協働による地域の課題解決
- 大学の知見や研究を活用した生涯学習の取組支援
- 学生が地域の産業・企業を知る機会の提供

2 稼ぎ、創り出したい!「なりわい」プロジェクト

産業構造の変化に対応した地域産業の基盤を整備し、市民所得の向上を図るとともに、デジタルを活用した地域の課題解決を推進し、地域価値の創造を目指します。また、本市の魅力を磨き上げ、その魅力を発信することで、本市に愛着を持つ人々を国内外に増やす「ファンづくり」に取り組みます。

▼ 主な取組

① 市民所得が向上する産業基盤づくり

担当課 ▶ 商工課、農業振興課

- (仮称) 米沢地域産業振興センター、(仮称) イノベーション連携拠点における取組
- 国の研究機関等と連携し、山形大学をはじめとした大学等による最先端技術の社会実装への支援
- 新たな産業団地の整備に向けた取組
- ブランド力の高い農畜産物づくり
- 青果物地方卸売市場の民設民営化に向けた施設整備

② 地域価値を創造するデジタル環境づくり

担当課 ▶ 魅力推進課、農業振興課、森林農村整備課

- スマート農業による農業経営の効率化の促進
- デジタル技術を活用した農林業の効果的な鳥獣被害対策
- 地域の課題解決や活力の維持・発展に向けた先端技術の活用

③ 国内外をターゲットにした米沢ファンづくり

担当課 ▶ 地域振興課、魅力推進課、商工課、観光課、文化課

- 上杉家や伊達家ゆかりの文化財等、歴史・文化を活かした観光振興
- デジタルマーケティングの手法を用いた本市の魅力の発信
- 新規学卒者やUIターン者に対する支援
- ふるさと納税を通じた継続的なつながりの形成

3 住み続け、守りたい!「暮らし」プロジェクト

豊かな自然と共生し、雪に強く防災機能の高い安全な地域づくりを進めるとともに、快適で暮らしやすく活気あふれるまちの形成を推進し、全ての人が身近なつながりの中でいつまでも安心して生活できるよう、地域医療と地域福祉の充実を図ります。また、持続可能な地域コミュニティと行政の仕組みづくりに取り組みます。

▼ 主な取組

① 雪・災害に強く自然と共生する安全な地域づくり

担当課 ▶ 環境課、防災危機管理課、土木課

- 脱炭素先行地域づくりにおける再生可能エネルギーの導入と省エネルギーの促進
- 災害時に防災活動の拠点となる米沢消防署の建替え
- タイムリーできめ細かな除排雪、雪処理の担い手確保、除排雪協力会との連携

② 快適なインフラ整備とまちなぎわいづくり

担当課 ▶ 地域振興課、土木課、都市計画課

- 市街地中心部における公共空間等を活用した官民連携によるまちづくり
- 都市計画道路石垣町塩井線等の整備による道路交通網の構築
- バスや乗合タクシー等による市内全域の公共交通の維持

③ 全ての人に安心を届ける医療・福祉環境づくり

担当課 ▶ 社会福祉課、健康課、高齢福祉課、病院総務課

- 診療所の新規開設、承継に対する支援（再掲）
- 医療従事者の確保、政策医療・高度専門医療・救急医療の提供
- 包括的に相談を受け止め、適切な支援機関につなぐ重層的支援体制の整備
- 身寄りのない高齢者等の支援体制の整備

④ 持続可能な地域コミュニティと行政の仕組みづくり

担当課 ▶ 財政課、政策企画課、コミュニティ推進課、魅力推進課

- コミュニティセンターを拠点とした、地域住民による地域の課題解決に取り組む活動の支援
- デジタル技術の導入による市民サービスの向上と行政の効率化
- 生産性を高め、市民満足度の向上を図る取組
- 更なる歳入の確保や事業のスクラップ等による歳出の削減、廃止施設の利活用や不要施設の解体

みんなで考えてみませんか？

よねざわしあわせビジョンは、市民・学生・事業者・行政等と一緒に作り、育てていく計画です。

今感じている米沢市の魅力や「ここが好き」「ここが誇らしい」という気持ちを語り合きましょう。

10年後の米沢市や自分の姿を想像してみてください。どんな景色があって、どんなくらしが広がっているのでしょうか。

そして、その未来に向けて私たちにできることも考えてみませんか？

一人ひとりの気づきや想いが、米沢市の未来につながっていきます。

考えたことを
記入して
みましょう！

今の米沢市の良いところや好きなところはどこでしょうか？

10年後を想像してみませんか？

■ どんな自分になっていきたいですか？

■ 米沢市をどんなまちにしたいですか？

そのために、私たちにできることは何でしょうか？

米沢市まちづくり総合計画
よねざわ しあわせビジョン2035
2026(令和8年度)~2035(令和17年度)

概要版

発行 令和8年3月 編集 米沢市 企画調整部 政策企画課
〒992-8501 山形県米沢市金池五丁目2番25号
TEL 0238-22-5111(代表)
FAX 0238-22-0498(代表)
市ホームページ <https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/>

※このページは学校の授業や地域学習等で活用できるようワークシート形式としております。家庭や地域での学びのツールとしても活用いただけますので、お役立てください。

イラストは米沢鶴城高校
加藤千佳さんが作成しました。

